



株式会社 王将フードサービス

証券コード：9936

株主のみなさまへ

第45期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

「人こそが企業価値の源泉」の信念のもと、
一人ひとりの生産性を高める取り組みを通じて、
100年企業に向けて持続的成長をめざしてまいります。



株主のみなさまにおかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第45期第2四半期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の決算が確定いたしましたので、ご報告申し上げます。

おかげさまで、本年2月から9か月連続で同月比過去最高売上を更新しているほか、新概念店や台湾での海外展開、餃子のお持ち帰りの強化販売、デリバリーサービスなど、王将の付加価値を高める新たな取り組みがいずれも好調に推移し、業績に寄与しています。

私ども役職員一同は、「人こそが企業価値の源泉」の信念のもと、お客様に喜んでいただき、選んでいただける店創りを追求しております。そのために、まずは経営の効率化を引き続き推し進めるとともに、従業員が満足して働ける環境を作り、従業員一人ひとりが餃子の王将の魅力を発信できるよう邁進してまいります。つきましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 渡邊 直人

社会的使命

快適な食空間、心温まる接客、
そして美味しい料理は人々を「幸せ」にします。
私たちは、それらを高品質で提供しながら、
低価格で実現する努力を行う事によって、
より多くの人に「幸せ」を感じてもらう事を
使命とします。

経営理念

お客様から「褒められる店」を創ろう！
その実現に向けた努力こそが私達を成長させ、
私達に幸せをもたらし、
社会への貢献につながる原点である。

Q 昨年末の創業50周年を経て、100年企業 をめざす思いをお聞かせください。

A 株主のみなさまのおかげをもちまして、当社は昨年
創業50周年を迎え、今年は100年企業に向けて力
強く前進しております。

我が国では、深刻な労働力不足の時代を迎えており、特
に慢性的に不足している外食産業において、オートメーショ
ン化への投資が盛んとなっています。当社においても、工
場でオートメーションを取り入れた生産性の向上に努めてお
ります。

しかしながら、お客様と接する店舗においては、工場と異な
り、オートメーション化に走るのではなく、むしろ人の手作りに
よる心のこもった調理、温かい接客を重視しております。そ
のため、ここ数年にわたり人財への投資、すなわち教育に力
を注いでまいりました。加えて、従業員が満足して働くこと
のできる環境の整備に努め、給料ベースアップをはじめ、労働
時間の削減や有給休暇の取得促進などに全社で取り組んで
まいりました。

こうした経営改革を積み重ねてきた結果、日常食としての
中華料理として、数多くのお客様からご支持を賜りました。

当上半期においても、新規のお客様、リピーターのお客様と
もに増えていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも、本物の「食」を大切にしたいと考えるお客様に、
値ごろ感のある本格中華料理を、真心を込めて提供してい
くことで、末永い発展をめざし、100年企業へと飛躍してい
く覚悟です。

Q 上半期の経営環境および業績は いかがでしょうか？

A 日本においては少子高齢化を背景に市場が縮小傾向
にあり、外食産業を取り巻く経営環境は依然厳しいも
のがあります。しかしながら、当社においては、継続して従業員
教育への投資に努めてきたことから、全店において調理から接
客、店舗運営に至るまで、あらゆる品質が向上し、市場における確
かな価値をご提供できるようになってまいりました。

お客様にQSC(品質・サービス・クレンリネス)の向上を評
価していただいた結果として、本年2月から9か月連続で同
月比過去最高売上を更新するという成果に結びついている
と考えます。全国の店舗において、地道な取り組みの成果
として、QSCが向上し、お客様から褒められ、またモチベー
ションが上がってQSCが向上する、というプラスのスパイラ

ルが継続している状態です。

Q

**上半期は集中豪雨、台風、地震の
自然災害が相次ぎました。
経営への影響はいかがでしょうか？**

A 平成30年7月豪雨や、大型台風、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震などにより被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

当社におきましても、一部の店舗が被災し、停電などにより一時休業や営業時間の短縮などの事態が生じました。

また、大阪府北部地震の影響で、京都府の久御山工場が操業の一時停止を余儀なくされました。この事態に対しては、埼玉県の東松山工場からの補完により、西日本地区での営業に必要な食材の生産をほとんどカバーすることができました。苦い経験ではありましたが、BCP(事業継続計画)の面で柔軟に対応できたことは当社の強みを一つ発見した思いであり、この経験を今後のBCP対策に活かしてまいります。

加えて、上半期の悪天候は、野菜が高騰するといったマイナス要素の原因になりました。これに対しては、前年度に比べて価格が安定している鶏肉や豚肉を用いたフェアメニューの開発を行ってコストアップの抑制に努めました。また、野菜などの生鮮食品についても、相場を先読みした仕入れとメニュー開発を連動させることに努めました。これら月ごとの限定メニューは好評を博しており、売上に占める構成比が増えつつあります。加えて、全店舗で食材の無駄をなくす取り組みを徹底したことも奏効し、食材費のコスト上昇を極力抑えることができております。

今後、持続的成長をめざす上で、事業リスクの一つが今回のような自然災害ととらえています。特に大規模地震は大きなリスクとなり得ます。当社では大規模災害プロジェクトを

立ち上げ、万一の事態に際して最善の対応ができるように、資金計画や組織体制、具体策などの策定を進めています。こうした施策を通じて、いかなる事態に対してもBCPが実効性をもって発動できる体制を整えていく考えです。

Q

**下半期における経営課題と取り組み、
そして通期の業績見込みについて
教えてください。**

A 「人こそが企業価値の源泉」の信念のもと、好調な業績を支える、価値ある人財の育成に向けた取り組みを引き続き加速してまいります。昨年7月に新設した「王将大学」および「王将調理道場」を核として、店長や副店長の研修を実施しています。これによって、店舗運営や人財育成、調理技術などのさらなるレベルアップを図っています。すでに延べ2,000名が研修を受講し、各店舗に戻った後、学んだことを店内で浸透させることで、QSCの向上につながっています。

また、努力する人が着実に成長でき、評価される企業をめざし、人事・評価制度、賃金体系の見直しも進めています。

出店計画については、2021年度に900店舗をめざす一方、既存店における経営効率の強化を図り、お客様に選ばれる店創りに注力してまいります。また、新コンセプト店「GYOZA OHSHO」をさらに発展させた店舗を東京地区に出店すべく計画を進めている段階です。

海外展開では、台湾・高雄での1、2号店の業績がいずれも堅調です。これらに続いて、主要都市である台北での出店を計画中であり、台湾での事業の拡大を早期に図って参りたいと考えています。

このほか、当社における様々な課題に対しては、組織改革で設立した経営戦略本部、販売促進部などの専門部隊に加えて、社内を横断するクロスファンクションチームで検討を行い、必要



な取り組みを実施してまいります。すでにキャンペーンや広告、POP(店頭広告)、景品、メディア対応などで成果を上げており、各店舗の売上増に寄与しています。

なお、通期の業績につきましては、期初の予算を確実に達成していくとともに、上積みをめざしてまいります。また、株主のみなさまへの還元については従来の方針を継続していく考えです。

Q

来年10月に予定されている消費税率の引き上げに向けた対応は いかがでしょうか？

A 政府は、来年10月1日から消費税率を10%に引き上げると同時に、消費税軽減税率制度を導入する予定です。かつて、消費税率が8%に引き上げられた際、客数が一時的に減少した経験を踏まえ、当社ではすでに対応策を講じています。

具体的には、軽減税率の適用となる持ち帰り販売やデリバリーサービスの取り組みを強化していく考えです。すでに店頭において、持ち帰り用の生餃子や一人前入りラーメンパック(5種)などの販売を実施しており、いずれも大変好評を博していることから、販売の拡大を図ってまいります。

加えて、東京および大阪、京都で展開しているデリバリーサービスが好調であることから、今後、提携先を確保しながら、名古屋や福岡など全国主要都市において、サービスを早期に拡大していく考えです。こうした取り組みを通じて、来たるべき消費税率の引き上げに全店舗でしっかり備えてまいります。

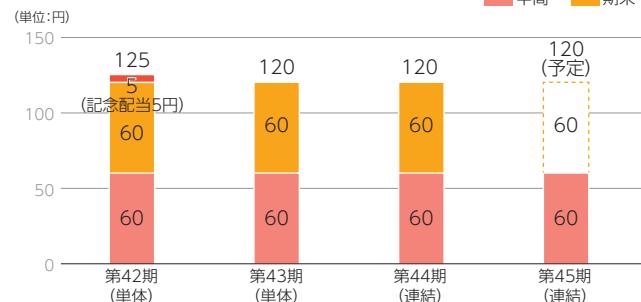
Q

最後に株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 今日に至るまで長きにわたって、株主のみなさまからご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。これまで以上にみなさまのご期待に応えるため、経営トップをはじめ、役員全員が一丸となって、様々な課題に果敢に取り組んでまいります。

そして、お客様からも、株主様からも選ばれる企業であることを追求していく所存です。時代の先を見通した取り組みを通じて、株主のみなさまへの還元に努めるのはもちろんのこと、当社の株式を保有していただくことに誇りを持っていただけるような企業をめざして、ひたすら邁進してまいります。つきましては、これまで以上のご支援を賜りますよう、心よりお願い申しあげる次第でございます。

1株当たり配当金



従業員への教育を強化し、生産性向上の結果、お客様から高い評価を頂けたこと

第2四半期のポイント

- ①「QSCの向上」「生産性の向上」「新たな販促活動」「商品のおいしさの追求」などの取り組みの結果、客数が増加し、2018年2月から9か月連続で同月比過去最高売上を更新。
- ②生産性向上による人件費率の減少、水道光熱費の削減、減価償却費の減少等により営業利益は前年同期比で50%増益。
- ③デリバリーサービスを拡大。今後も多様化する消費者ニーズに対応。

売上高

40,869百万円

(前年同期比**6.2%**増)



経常利益

4,002百万円

(前年同期比**51.8%**増)



親会社株主に帰属する四半期純利益

2,623百万円

(前年同期比**53.4%**増)

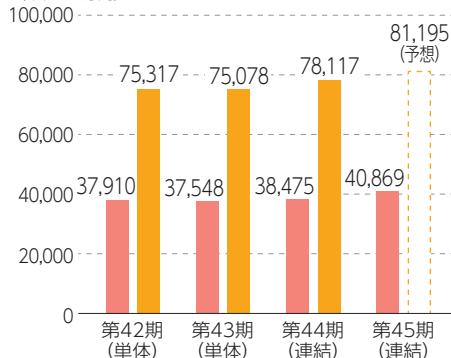


主要経営指標等の推移

第44期より連結決算に移行しております。

売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



(注) 本報告書に記載している業績予想につきましては、策定時点において入手可能な情報に基づいて当社で判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。



努力と工夫を実行。 により、過去最高の売上高を獲得。

資産の状況

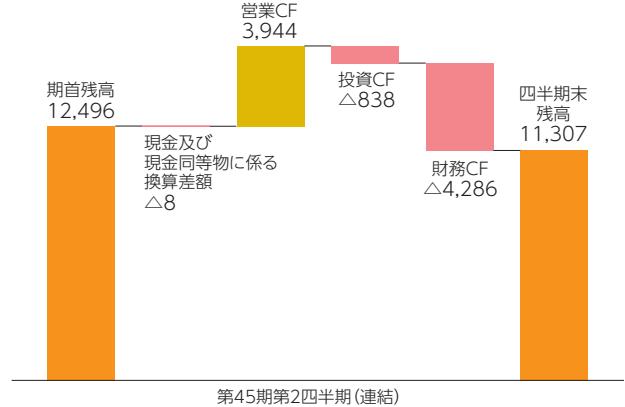
(単位:百万円)

	第44期末 (連結)	第45期第2四半期末 (連結)
流動資産	14,245	13,318
固定資産	50,857	51,912
流動負債	15,034	12,275
固定負債	3,945	3,806
純資産	46,122	49,148
総資産	65,102	65,230

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

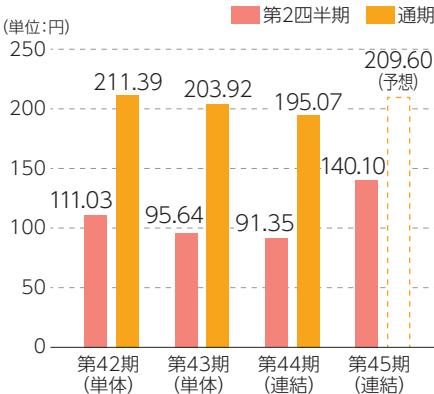
キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)



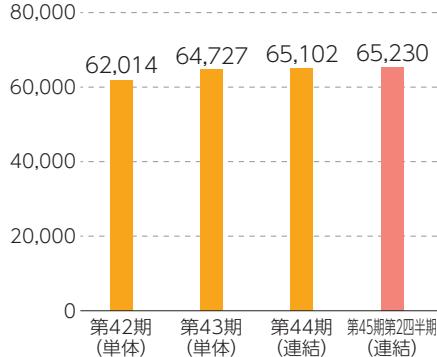
1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



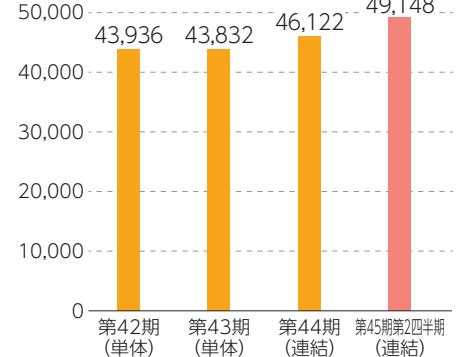
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



好評のデリバリーサービスを 関西地区でも開始

当社は、昨年11月より東京都内において、夢の街創造委員会株式会社が運営する宅配ポータルサイト「出前館」の「シェアリングデリバリー®」によるデリバリーサービスを開始しております。

同サービスが好調であることから、本年7月より大阪市内の1店舗および京都市内の5店舗でも同サービスを開始いたしました。なお、京都市内は、Uber Japan株式会社の「Uber Eats(ウーバーイーツ)」との提携によるものです。今後、消費者ニーズの変化に応じて地域を拡大していく計画です。



Uber
Eats

人気の「ラーメンパック」を 新たに3種類、販売開始

当社は、本年6月に販売開始した本格生麺「餃子の王将ラーメン」「醤油ラーメン」の2種に加えて、9月より新たに「味噌ラーメン」「塩ラーメン」「豚骨ラーメン」の3種を、お求めやすい1人前入りで発売を開始しました。

いずれも北海道産小麦粉100%の、つるつとしたのごしのストレート生麺を使用。「本格、簡単、プロの味」を、ご家庭でご賞味いただけるのが特徴です。価格は1人前入り180円(税別)で販売しております。



※一部の店舗では、当該商品の取り扱いが無い場合があります。ご利用の店舗へご確認ください。

「京都はあとふる企業(京都府障害者雇用推進企業)」の認証を取得

当社100%出資子会社の株式会社王将ハートフルは、9月に京都府より「京都はあとふる企業」として認証を受けました。

同制度は、京都府が、2011年度より障害者雇用に対する理解と促進を図ることを目的に、障害のある方を積極的に雇用している企業を認証する制度です。

現在、同社は19名の障がい者を雇用し、食材の一次加工や清掃・クリーニング業務を担っております。今後も、グループが一丸となって、誰もが働き甲斐をもって働ける職場づくりに努めてまいります。



店舗のご案内

2018年
9月30日現在の
店舗数

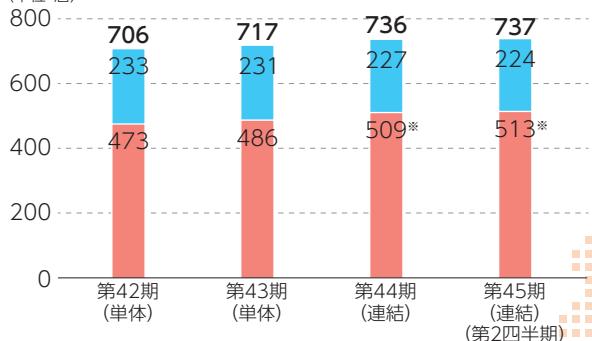
全国 **737** 店舗

(直営513店* / FC224店)

(※餃子の王将 高雄漢神巨蛋店、高雄漢神成功店(台湾)を含む。)

店舗数の推移

(単位:店)



直営新店

FC新店

(2018年4月~2018年9月)



ノジマモール横須賀店
(神奈川県横須賀市)



荻安賀店
(愛知県一宮市)



大国町難波中店
(大阪府大阪市)



広島袋町店
(広島県広島市)

会社概要

商号	株式会社王将フードサービス (英文名) OHSHO FOOD SERVICE CORP.
創業年月日	1967年12月24日
設立年月日	1974年7月3日
主な事業内容	中華料理を主体にしたレストランの運営及び フランチャイズ加盟店への中華食材等の販売
資本金	8,166,383,816円
従業員数	2,251名(連結)
子会社	王将餐飲服務股份有限公司 株式会社王将ハートフル

役員

代表取締役社長	渡邊	直人
専務取締役	上田	実
常務取締役	是枝	秀紀
常務取締役	木曾	裕
常務取締役	池田	直子
取締役	門林	弘
取締役	杉田	元樹
取締役(社外)	渡邊	雅之
取締役(社外)	稲田	旭彦
取締役(社外)	関島	力
常勤監査役(社外)	高橋	正哲
監査役(社外)	中谷	健良
監査役(社外)	原	哲也

主な事業所

本社	京都市山科区西野山射庭ノ上町294番地の1
事務所	東京事務所 東京都千代田区神田須田町 2丁目11番地 協友ビル3階
工場	久御山工場 京都府久世郡久御山町 田井東荒見1番地1
九州工場	福岡市東区松島3丁目7番13号
札幌工場	札幌市手稲区新発寒6条1丁目1番46号
東松山工場	埼玉県東松山市大字新郷405番1
店舗	直営店:513店舗* FC店:224店舗 (※餃子の王将 高雄漢神巨蛋店、高雄漢神成功店(台湾)を含む)



本社



東松山工場

株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	23,286,230株
株主数	17,369名

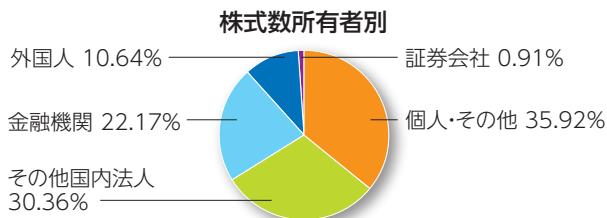
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アサヒビール株式会社	2,053	11.0
ジャパンフードビジネス株式会社	1,400	7.5
アリアケジャパン株式会社	1,100	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	672	3.6
加藤 梅子	611	3.3
加藤 ひろみ	602	3.2
公益財団法人加藤朝雄国際奨学財団	528	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	514	2.7
王将フードサービス取引先持株会	300	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	281	1.5

(注)1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は、自己株式4,563,702株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (自己株式を控除して計算しております。)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

単元株式数 100株

配当金受領株主
確定日 3月31日および中間配当金の支払いを行うときは
9月30日

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 TEL. 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。

公告掲載方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.ohsho.co.jp>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主優待制度

当社では、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするため、当社株式を100株以上所有の株主様に当社でご使用いただける「株主様ご優待お食事券」および3月末時点の株主名簿に記録された100株以上所有の株主様に「株主様ご優待カード(3月末のみ)」を贈呈する優待制度を設けております。



株主優待制度の内容

対象株主	所有株式数	優待内容 (「株主様ご優待お食事券」は当社商品との交換も可能)
9月末、3月末	100株以上200株未満	2,000円分 500円券4枚を贈呈
	200株以上500株未満	3,000円分 500円券6枚を贈呈
	500株以上1,000株未満	6,000円分 500円券12枚を贈呈
	1,000株以上	12,000円分 500円券24枚を贈呈
3月末のみ	100株以上	「株主様ご優待カード」(会計時5%割引) 1枚贈呈